

講 義 名	インスティテューショナル技術経営第二 Science of Institutional Management of Technology: SIMOTの第二or SIMOT-2		
開 講 時 期	後学期	単位数	2 - 0 - 0
担 当 教 員	渡辺千仞教授、経営工学/IM研究科より(准)教授9名(予定)、菊池隆専任特任教授 経営工学系COE-SIMOT「インスティテューショナル技術経営」特任(准)教授・研究員10名		
<p>【講義のねらい】特に(日本のユニークな)イノベーションとインスティテューションの共進ダイナミズムについて、経営工学/MOTの様々な分野の観点から考察・講義し、かつ企業人が体得したインタジブルなダイナミック・メカニズムについて実際の教育を行う。受講生には、その内容を理解・吸収し、体系化、可視化、操作化を試行してもらう。未来のSIMOT研究者およびビジネスリーダーに必須の内容である。</p> <p>【講義形式・時間】5、6限のみならず、ランチタイムも活用。従前よりも内容を充実・拡大。</p> <p>【第一、第二の違い】 相対的に、第一は、基本理論色、第二は、実践応用色が強いので、標準的には、第一、第二の順に受講することが推奨されるが、逆の場合でも理解できるように構築されている。</p> <p>【講義計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Intro-1 (渡辺、菊池) 2. Intro-2 (渡辺) 3. Intro-3 (渡辺) 4. Title (経営工学/IM研究科教授)、Title (経営工学/IM研究科教授) 5. Title (経営工学/IM研究科教授)、Title (SIMOT研究員) 6. Title (経営工学/IM研究科教授)、Title (SIMOT特任教授) 7. Title (経営工学/IM研究科教授)、Title (SIMOT特任教授) 8. Title (経営工学/IM研究科教授)、Title (SIMOT特任教授) 9. Title (SIMOT特任教授)、Title (SIMOT研究員) 10. Title (SIMOT特任教授)、Title (SIMOT特任教授) 11. Title (経営工学/IM研究科教授)、Title (SIMOT協力員) 12. Title (経営工学/IM研究科教授)、Title (SIMOT特任教授) 13. Colloquium - 1 14. Colloquium - 2 (必要に応じ、適宜補講を開講) <p>【成績評価】 毎回のShort report、Class Participation、期末発表</p> <p>【テキスト等】 事前に、適宜、必要なデータ・テキスト・資料を配布。履修生は事前の十分な読み込みが求められる。</p> <p>【履修の条件】 英語の理解力、経営工学全般に亘る基礎的な知識</p> <p>【担当教員から一言】 講義、討議は原則的に英語で行うが、適宜判断する。講義の際の資料・Short reportも原則英語。Colloquiumでは履修生各人の発表および「徹底した」討議を行う。</p> <p>【非常勤特任教授のBackground】 安田：(株)東芝 セミコンダクタ社提携・戦略担当部長、鮫島：弁護士・弁理士 内田・鮫島法律事務所、増田：前石油公団理事、元国際エネルギー機関(IEA)石油市場・緊急時局長、小林：現筑波大学教授、前産総研 技術情報部門研究顧問、保々：日本オラクル執行役員 オラクルユニバーシティ本部長、Peter Mertens：シーメンス技術部長、皆川：NECの「リアルタイムCRM」責任者、山田：ネクステック社長</p> <p>【その他】COE-SIMOT スターター、若手研究者、RAは必修。</p>			